

令和6年 府中市立保育所自己評価チェックシート実施結果

府中市立中央保育所

【参考】公立保育所平均値

自己評価項目		はい	いいえ	特記事項
1	人権尊重	100%	0%	子ども一人ひとりが保育所で心地よく過ごせるよう配慮するとともに不適切な対応や言葉かけをしないようにしている。また、子どもの命を守ることが子どもの人権を守ることと考えている。
2	説明責任	100%	0%	日々の送迎や個人面談、懇談会の機会を活用するほか、掲示等で周知し、わかりやすい応答的な説明に努めている。
3	情報保護	100%	0%	情報セキュリティの研修を職場全体で行い、個人情報に関わるものは施錠できるところに収納し、持ち出す際は管理簿に記入している。
4	苦情解決	100%	0%	保護者の苦情や不満の裏側に隠れた保護者の本当のねがいを読み取ることができるよう心掛け対応する。ケースにより、上司や関係機関に相談しながら解決に向け進められるように努めている。
5	保育内容	98.7%	1.3%	毎月、保育の計画や評価を行い、職場内で共有している。お互いにアドバイスしあうことでより良い保育ができるよう心掛けている。
6	小学校との連携	100%	0%	児童要録の作成、情報提供、年長クラスを対象とした1年生との交流会などを通し、小学校との連携を行っている。
7	健康支援	100%	0%	日々の連絡帳での情報収集や、保護者・保育士・看護師との情報交換を密にし、子どもの様子の変化があった際には早期発見・早期対応につなげられるよう心掛けている。保護者とコミュニケーションをとることで、何かの時に迅速に対応や協力をしてもらいやすいような関係づくりが大切と考えている。
8	食育の推進	100%	0%	食育や、畑で作物を育てるなどの経験を通して食べることへの興味が広がるようにする。アレルギーや宗教食などは、安全に提供できるよう毎月確認を行っている。子どもが自分の適量を選べるような工夫をし、楽しくおいしく食べられるようにしている。
9	環境・衛生管理並びに安全管理	100%	0%	環境整備表を基に清掃、消毒を実施しており、施設や遊具については、定期的に業者や保育所職員で点検している。事故防止チェックリストとヒヤリハットを活用することで事故防止に努めている。
10	災害への備え	100%	0%	毎月防災訓練を行い、備蓄品等の点検をすることで不測の事態に備えている。総合防災訓練時に、災害伝言ダイヤル等を使用し、不測の事態に備えている。

はい	いいえ
99.9%	0.1%
99.1%	0.9%
99.7%	0.3%
98.6%	1.4%
99.1%	0.9%
97.9%	2.1%
99.4%	0.6%
99.7%	0.3%
99.7%	0.3%
99.7%	0.3%

自己評価項目		はい	いいえ	特記事項	はい	いいえ
11	子育て支援（保護者への支援）	99.2%	0.8%	日ごろから、保護者とのコミュニケーションを心がけ、保護者の変化や悩みに寄り添えるようにしている。職員同士の情報共有をしっかりと行い、必要に応じ、保護者にとって良い対応がとれるように心がけている。	97.2%	2.8%
12	子育て支援（地域等への支援）	98.3%	1.7%	毎週、園庭開放を行い地域の子どもの遊び場を提供している。また、保育所見学も随時行い、保育所の様子を知ってもらえるようにしている。	97.3%	2.7%
13	要保護児童への対応	100%	0%	虐待の早期発見に努め、速やかに保育所長に報告することになっている。日ごろから通告を行う体制は整っている。	99.3%	0.7%
14	特色ある教育と保育 （特別な支援を要する子どもへの対応）	100%	0%	インクルーシブな保育を心がけ、多様な子どもたちを受け入れるようにする。会議等で情報を共有し、皆で見守れるようにしている。また、必要に応じ専門機関にアドバイスをもらう機会を設け保育がより豊かになるよう心掛けている。	99.5%	0.5%
15	地域の実態に対応した保育事業	90.9%	9.1%	散歩に出かけた際には地域の方と交流する機会がある。地域とのつながりを大切にし、交流していける体制は確立されている。	95.4%	4.6%
16	研修	100%	0%	職員に資質向上に向けて研修が計画されており、共有の場として職員会議等で行っている。	98.8%	1.2%

自己評価チェックシートを実施しての振り返り

・公立保育所全体と比較して地域の実態に対応した保育事業の項目が数値的に下回る結果となりました。園庭開放の参加者が年間通していなかったことが要因であると考えます。今後は、保育所見学の時などに案内し、在宅で子育てする親子にも、保育所を身近に感じてもらうようにしていきたいと思います。また、近隣の小学校との交流を深め、幼児教育が学校へとつながるよう遊びからの学びを深めていきたいと思います。

・保育内容については、子どもの人権について、職員皆が日々考えていかなければなりません。子ども一人ひとりが安心して過ごせ、夢中になり遊べる環境を作ることが大切であると考えます。今後は季節や年齢にあった保育環境を更に充実させ、経験値が高められるようにしていきたいと思います。また、職員皆が同じ思いで保育にあたれるよう連携を図っていきます。その他、中央保育所として、保育の見直しやジェンダー、ダイバーシティ（多様性）問題についても、話し合いをしています。来年度も職員からの発見や発信を大切にしながら、子どもたちの健やかな成長に繋げていきたいと思っています。